

危者が又私の子でないなど、云はれた日には、

その子は勿論其他の利害關係人に至るまで不慮の損害を受けねばならないことが始ります。凡て世

の中は絶對的のものではありませんから、この原則にも例外があります。即ち之れに對する反對事實の主張であります。

右の場合に、私の子でありますと云つた父又は母が正直な人であればよいが、若不正直であつて自分の子でもない者を自分の子だと云つたときは認知された子とはとんでもない迷惑で、知らぬ他人と親子の關係を生ぜねばなりません。それだから、この時には其子又は利害關係人は、認知に對して反對事實を主張して認知の取消を裁判所に請求することゝ出来ます。

雜　　錄

●女子高等師範學校彙報

▲第六臨時教員養成所入學式　豫而詮考中なりし該所英語科入學志願者中の合格者三十名に對し去月十日同校大講堂に於て入學式舉行せられたり
▲修學旅行　同校理科四年生は神奈川縣三崎臨海實驗所へ文科及技藝科は日光地方へ何れも修學旅行を行へる由

●模範的校舍　來年四月上野に催さる可き勸業博覽會に出品す可き東京市の教育品中には模範的校舍とも稱す可きものあり。其建築は大体凹字形にして托兒所、幼稚園、特殊尋常小學校の三に區畫し小學校にのみ二階を設け其の設計は左の如くにして托兒所は獨逸の新計畫に則りしものゝ由之が建築費は約一萬六千圓の見込なり

▲托兒所　遊戯室二十坪五合、寢室五十七坪合、母の控室兼更

衣室八坪、保母室八坪、治療室及醫員控所八坪、浴室六坪、炊事所八坪、食堂八坪、洗濯所二坪、幼兒及嬰兒遊戲場約二百坪（植物園を含む）、小鳥苑等の家畜飼養場約十六坪、嬰兒砂上遊戲場十六坪五合、（此部分には雨除を施す見込）

▲幼稚園 保育室二個各十二坪 外廊下八坪 押入一坪半、便所二坪、土間（入口）二坪、遊戲室二十三坪五合

▲特殊小學校 教室十五坪七合五勺つ、四室教員室八坪七合五勺、廊下十六坪七合五勺、便所八坪

●女學校生徒服装制定 近時一般女學生の華美は漸く其の頂點に達し是非其之が矯正の必要を感じ文部省に於ては先づ直轄及各府縣立女子師範學校及高等女學校の服装を一定せんとし、此れが可否に付き各當事者間の意向を問ひ合せ中なりしが、之につきては多少の反對者なきにあらざるも、一般の當事者間に於ては服装の制定を希望せる模様なり、之に關して松本文部書記官の談話なりと云ふを聞くに左の如し
前大臣の際某女學校長より、女生徒の服装制定に關し意見書の提出ありたれば、一應是れを調査し、尙は續て各地方廳に向け諮問を發したるが开が意

見に徴すれば諸種の異見もあれど、大體に於て女學生の服装は筒袖に袴を善しとし、勿論可成品質は質素なるを用ゐるとの事に一致し、同省も其説を執るに略内定し、追て訓令或は通牒に及ぶ筈なりしが、爾後大臣交送し、未だ勿卒の場合是れが發表には到り難く、且其の實行には種々の困難もあり、省議も未だ一定するに至らず云々
蓋し此服装改良も云ひ易くして行ひ難きもの、一つなる可し。吾等は姑息の改良を實行せんよりは寧ろ男子の洋装に倣ひて女子にも洋装を勧めんとを希望す。洋装にも非ず和装にもあらざる綿羊毛の改良服は徒に人目を側たしむるのみにして女子の本性にも戻る所多し。人或は洋装の費用多きを云ふ。然れども是は騙れるが爲めのみ吾人の見聞する處に因れば兒女の洋装の如きは却つて經濟的なるを認む。

●都會の教育 谷本博士は大阪市教育會總會に於て標題の如き演説を試まれたり、左に録するは其大要なりと云ふ。
▼都會教育者の覺悟を要す 日露戰爭後に於ける教育の好果にあ

こがる、都會の教育者は實に一層の深き注意と覺悟を要す特に漢堡と其膨長の趣を同ふせる大阪市の如きにありて今の日に於て試みに教育の主義を問はゞ之に明答し得るもの果して幾人ぞ

▼教育者は一隻眼を備ふるを要す 彼の死せる教育學や煩雜なる教授法以外に一隻の活眼を有せるもの果してありや、實に今後の教育は、只天賦の才能を發達せしむといふ如き主義のものにあらずして、社會的には常識を養成し、個人的には天才を煥發せしむるを要す。即ち

▼教育とは各個人をして境遇に適應せしめ、自家の面目を維持して着々擴充の効を奏せしむべきものなり、此の擴充と適應とは實に大切なる教育上の概念にして、擴充ありて適應あり、適應ありて擴充あり、擴充は理想にして將來に滲り適應は境遇に屬して現在にかゝれるが如きも畢竟自己より見て擴充といひ、社會より見て適應のみ、而して天才とはこの擴充に偏せる傾きあり、常識とは適應に長ざるものなり、

▼社會教育學の流行 近時社會教育學の流行と共に世はいたく適應に過ぎて擴充を遺却せんとするが如き觀あらざるか、更に

▼實際的方面 ありては都會は常に個人の面目を沒却せんとする諸種の誘因甚多し、人烟の稠密、空氣の不潔、生活の困難、市街の喧囂、職業の苦痛、風俗の淫靡等主として身体的に個人を沒却するの因となり、在住者の不定轉移は隣保相助の念を生ぜず、秩序を重んずるの精神を害し生存競争の甚劇は家庭を離散し、浮浪の徒を生ずる等精神的に個人を沒却せんとする惡因亦甚乏しからず。特に都會死亡者の多きは實に教育者の寒心すべき所にして

衛生上の大注意を要する所とす、而して都會の教育者が常に力強き抵抗力ある適應を要するは喋々を待たず。試みに言はゞ

▼適應九ヶ條
一、學校を力めて衛生的の土地に建築して半日にても小市民の健康を圖るべきこと

二、遊戲体操の獎勵を一層盛にすること

三、清潔と美觀を養成するに注意すること

四、教室若くは校庭内に適當の設備をなし或は屢郊外に遠足せしめて自然を好愛せしむるべし

五、屢平易なる學生の植民旅行(夏期學校の類)を行ふこと

六、簡易生活の娛むべきを知らしむること

七、禁酒貯金の獎勵

八、宗教的教育の必要

九、相身互ひの社會的教育を施すこと

▼擴充に就ては、單に『良心に従ひて奮闘する眞の勇氣ある國民を作る』を以て旨とすれば足るべし。

▼教育者自身に就ては、自己の選せる左の十三條の簡單生活を坐右の鍼とし、以て縱横に適應活用せば庶幾くば都會教育を施すに於て過なきを得んか

一、冗らぬ考休むに若かず、

二、冗らぬ心配せぬがよし、

三、冗らぬ不平は速かに忘れよ、

四、冗らぬ見榮を張らぬこと、

五、冗らぬ世辭を言はぬこと、

六、冗らぬ禮儀に手間隨つぶすな、

七、冗らぬ品物を買ふな、

八、冗らぬ道具は一切無用、

九、冗らぬ勘定は却て損、

十、冗らぬ虚名を張るな、

十一、冗らぬ交際成るべく避けよ、

十二、冗らぬ高慢最わるし

十三、冗らぬ小言は言はぬがよし

●米國の女庭訓 ヘンベックリドハスバンドを以て有名なる米國婦女子の氣風には流石の米國人も堪え兼ねしものと見へ某米國新聞には此程「娘の教育法」と題して左の十三ヶ條を列記せりと云ふ
採つて項門の一針となるなからんか

(一) 女は食物を調理する事を學ぶべし (二) 洗濯とボタンを縫ひ付くると及び自己の衣服は自己にて洗ふべし (三) バンを焼く方法は是非之を學ぶべし (四) 一弗は百仙なる事を知り結婚後は良人の收入と自己の消費とを計算すべし (五) 借金を以て衣服を造るは耻辱なりと知れ (六) 強て美人ならんとして肺病患者らしき姿とならんよりは「健全は美なり」との原則を忘るゝ勿れ (七) 買物を爲す時は一仙二仙を争ひながら無益に香料に費消する一弗二弗の大なるを知らざるは大なる誤なるべし

●音楽學校の官費生 東京音楽學校は目下八分科に別たれ夫々教授を爲す規定なるも或學科の如き

一人の生徒をすら有せず音楽の發達上頗る寒心すべきものあれば文部省に於ては此程これが改正に着手しつゝありしが愈々今回官費生を設くる事となし大に斯學の奨勵を期する爲め不日官報を以て之れが規定を發表する由

●疥癬の新療法 醫學士にて軍醫なる山田弘倫

氏の談話なりと云ふを聞くに是迄疥癬や其の他皮膚病に用ひる藥は大抵軟膏と云ふ軟かい塗藥が重にて全身に用ゐる場合には塗たばかりでなく其上藥の剝れないやうに糊帶をかけるとか何だの彼だのと其費用は少からず殊に軍隊などに於ては皮膚病位で二三週間も入院させて療治するなど餘り手数が掛つて馬鹿らしきより練習させながら病を療す新しい藥があるまいかと種々工夫を凝し先づ隊の殘飯にて粥を拵へ之を潰して糊となし之に皮膚病に功能ある藥を入れて塗つて見た所糊帶が入らず藥が剝れず甚だ好結果であつたけれど粥に煮て潰して漉すと云ふ手数が掛るから同じもので手数の掛らぬ米の粉にて糊を造り腐敗を防ぐ爲め〇、五プロセントのサルチル酸を

入れたるに一封の塗薬の原料を造くるに費用は僅に金五厘に過ぎません、さて安値くて簡便で害のない原料を此の如くにして發見し之に疥癬に利目があるとして昨年四月にブルンス博士が發表した硫黄軟膏を右の新原料へ原料の百分の二十の割にて入れ之を患者に用ひて見た所是迄三四週間位かゝつたのを只た三四回塗つて療してしまつたが此薬の塗方が大切なり只だ塗ただけでは利目が少なきゆゑ疥癬を擦破つて薬を塗擦むのが肝腎なり若し出來物の皮の破れない時は針の先にて突破ぶり此薬を塗擦むべし次に注意すべき事は此薬を塗りたる中では着物を着換てはならぬ硫黄氣のついでる着物の方が病氣に利目があるからなり全り治つた上で湯に入り新しい着物を着換るがよし

●水彩畫夏期講習會 市内小石川關口駒井町なる春鳥會にては来る八月五日より三週間、府下西多摩郡青梅町大柳分校にて水彩畫の講習會を催ふす由知人より報知あり。講師は大下藤次郎外二名にて會費は記名料、講習料共貳圓の由

●女子園藝講習會 同會も来る八月一日より開

催の筈にて期限は一週間専ら女子の家庭的園藝に就て教授すと云ふ。課目は果樹、蔬菜、花卉、園藝、料理等にて講習料二科迄一圓五十錢全部二圓五十錢なり。但し申込の際五十錢豫納するを要すと云ふ

●菓子と小兒病 小兒に與ふべき飲食物の撰擇は殊に心を用ふべき事今更云はでもの事ながら近來の小兒の胃腸病は砂糖製の菓子を食ひ過ぐるより起るもの十中の八九を占むる有様なれば其由つて來る處を探るに、元來豆類を原料とせる砂糖澤山の羊羹や餡類は小兒の最も好んで食するものに世間の親達も小兒の菓子は此類に限ると思ひ居れど是れ大なる誤りにて此種の菓子は胃に入りて酸敗し易く乳酸と云ふものを生じて消化器を刺戟し甚しき害を與ふるものなれば平生此様な習慣をつけたる小兒は、爲に不治の慢性胃腸病を起し取り返しのつかぬ事になるもの尠なからず、されば小兒には心して此種の砂糖製の菓子を與ふることを廢めビスケットや麵麩などを與ふるを良しとす